

鉾田市公立学校施設再編計画 (未来に輝く児童のための学校づくり)

全国的な少子化により、児童・生徒数が減少し、学校の小規模化が加速しています。

学校教育は、集団で行うことが基本であり、学校全体の児童生徒数の減少は、教育条件、教育環境、学校運営等に様々な問題を引き起こすこととなります。

さらに、児童生徒に切磋琢磨できる教育環境を整え、社会性と生きる力を育むためには、各学校規模が適正に維持されることが必要であり、市内各小学校を現状のままにしては、将来望ましい教育環境が維持できなくなることが懸念されます。そこで、鉾田市教育委員会は、より望ましい教育環境を作るための指針として、公立小学校の再編計画を策定することとし、策定に当たっては「鉾田市公立学校施設適正配置計画策定委員会」より受けた、鉾田市公立小学校の適正規模及び適正配置に関する答申を尊重しながら、基本となる再編計画の素案を作成しました。

1. 再編計画の基本方針

- ①現在の中学校区単位の4校に再編(統合)します。
- ②現在進めている鉾田北中学校校舎改築事業と併せ、同校の周辺に鉾田北中学校区の統合小学校を建設し、鉾田市の新たな文教地区として整備します。
- ③他の3中学校区の施設整備についても、原則、それぞれ中学校の周辺に整備するものとして推進します。
- ④整備計画が長期にわたることから、さらなる少子化が進行した場合は、隣接する学校間の交流活動を推進し、^{※1}合同学習の実施や保護者の交流事業を推進するとともに、地域や保護者の皆様の理解が得られれば、新しい学校が整備されるまでの期間を、現有施設を利用した部分的な統合についても検討し、児童のより良い教育環境の整備を図っていきます。



※1 少人数の学校運営の弱点を補うため、複数校が合同で学習することで多様な意見交換が可能となり、学習意欲に刺激を与え、他校の児童との交流、地域間交流を図りながら課題解決のための指針が明確になります。

2. 統合小学校整備事業実施計画

最初の統合小学校を平成27年度までに整備する予定です。現在改築を計画している銚田北中学校に隣接した場所に新たな学校を建設し、小・中連携も視野に入れながら、整備を促進していきます。

それ以外の、銚田南中学校区、大洋中学校区、旭中学校区についても、可能な限り近隣の場所に新たな小学校を建設し、小・中連携も視野に入れ再編を推進していきます。

	順位	学 区	整備計画 年 度	計画予定地	児 童 数 (推計年度)	学級数 (見込)
第1次計画 (H25～H30)	1	銚田北中学校区	H25～H27	中学校周辺	443人(27)	18
	2	銚田南中学校区	H28～H30	中学校周辺	800人(30)	24
第2次計画 (H31～H36)	3	大洋中学校区	H31～H33	中学校周辺	356人(33)	12
	4	旭中学校区	H34～H36	中学校周辺	341人(36)	12

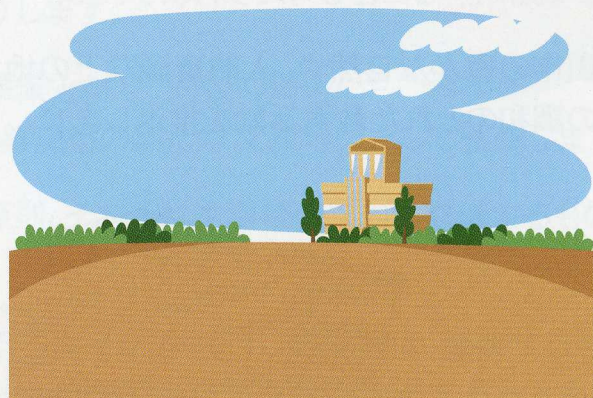


3. 各統合小学校建設の進め方

- ① 保護者や地域住民の方及び教職員の意向を取り入れた学校づくりを進めるために、
※² (仮称)統合小学校推進委員会を設置し、統合に係る諸問題を検討して進めます。

※² PTA・保護者・地域代表・教職員・学識者等で構成し、統合校の学校運営、建設計画、交流事業、閉校関係事業(式典・記念誌等)、その他統合に必要な事項について、専門部会を設置し検討しながら決定していきます。

- ② 通学区域の広域化により、通学時間・距離ともに延長されることが予想されるため、スクールバスの導入や、歩道設置を含めた安全対策を構じ、保護者の不安解消に努めます。
- ③ 原則、答申のとおり旧町村を超えた再編は行わない方針で推進しますが、現状に大きな変化が生じた場合は、旧町村学区にとらわれず再編することも検討します。
- ④ 整備計画の完了までには長期間を要することから、統合校が完成するまでの現有校舎等の安全性を確保するため、東日本大震災の影響による校舎等の耐震性を、再度確認し、必要に応じて耐震補強等を行います。



学校規模による諸課題は、学校の自助努力だけでは解決しにくい事象が多く、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図るために、適切な対応が早急に必要です。

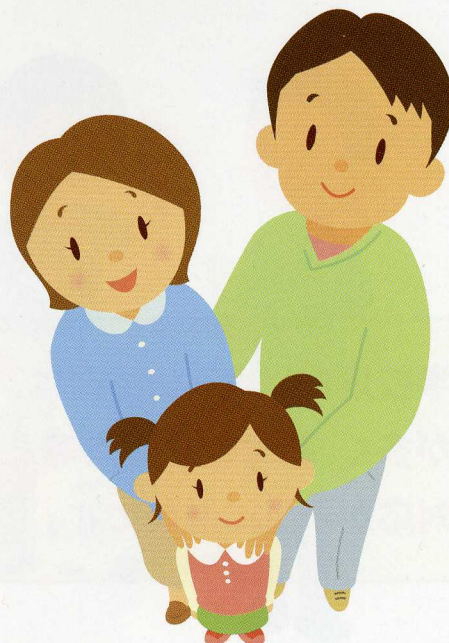
4. 特色ある教育活動の推進

統合後は鉾田市の教育目標のもとに、地域の環境を生かし、特色ある教育を取り入れて、教育活動を進めていきます。

- ① 小学校を中学校の近隣に建設することで、小中連携を視野に入れた指導体制の構築が可能となり、※3専科制(理科、外国語、音楽など)の積極的な導入を図ることにより、確かな学力を育む教育を推進し、国際化に対応できる子の育成に努めます。

※3 専科担任制は、学級担任制では不十分となりがちで、技能教科の学習指導を補うものとされてきたが、近年、教員の得意分野が児童の個性を伸ばすという積極的な意義のもと、活用範囲が拡大される傾向にあり、中学校との連携を図ることで教科の魅力を味わわせる、質の高い授業を実践することで、学習指導の充実を図ることが可能となります。また、専科制を通していろいろな指導法や複数の教員の個性に触れることで、中学校の学習や生活に円滑に適応できるようにします。

- ② 統合により、集団での学びの機能を生かす授業が可能となり、多様な児童との交流を通して、豊かな人間関係を育む教育活動を推進します。
- ③ 閉校となる学校をどうするかは、(仮称)統合小学校推進委員会で検討しますが、集団による体験活動の充実や、地域の方との交流活動を通して、郷土愛を育む教育活動の場として活用することも考えられます。
- ④ 鉾田市の豊かな自然や、人的資源などの地域教育力を活用した教育を推進し、知、徳、体の調和のとれた教育活動を推進します。



問い合わせ先

鉾田市教育委員会 学校教育課
TEL 0291-37-4340
FAX 0291-37-3185